

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2025 年 8 月 25 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社ロジスト
所 在 地	〒657-0854 兵庫県神戸市灘区摩耶埠頭 2-3
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 打保 陽
担 当 者 連 絡 先	電 話：078-871-7362
	メー ル：s-nishioka@logist-a.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://logist-a.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、神戸市灘区摩耶埠頭にて、倉庫業を運営しております。 日本の主要貿易港の神戸港内という立地を活かし、神戸税関様より保税蔵置場の許可を得て、外国貨物も取り扱いさせていただいております。また、全体の取り扱い貨物のうち外国貨物が 10%を超えるため、ハローワーク神戸港様より港湾指定倉庫に指定していただき、国土交通省様へ港湾運送関連事業の届出を行い、輸出入貨物にかかわる荷造り荷直しなどの港湾運送事業も運営させていただいております。 港湾関係企業として、SDGs への取り組みをさせていただくことで、神戸港のさらなる発展に貢献できるよう、努めさせていただきたいと考えております。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	倉庫屋上を利用した太陽光発電による再生可能クリーンエネルギーの利用 ISO14001 取得による環境目標の設定	太陽光発電による再生可能エネルギーの利用により、自家消費率 30%を達成し、脱炭素化、CO2 排出抑制に務める。
□環境 ✓社会 □経済	人材育成に注力、特に業界の高齢化を課題として、新卒社員の採用、若年層への技術ノウハウの継承、採用方針、教育計画の策定	採用面では新卒採用 10 名を目標に掲げる。 教育面では外部講師を招いての安全研修などを年 1 回以上実施し、スキル向上を図る。
□環境 □社会 ✓経済	取引先様とパートナーシップを結び、事業継続計画(BCP)を策定し、災害などの発生の際に対応できる体制づくりに取り組んでいる。	近年、予想される南海トラフなどの大地震に備え、年 1 回以上の避難訓練の実施と社内教育を実施する。BCP を年に 1 回以上見直す。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	【予定】啓発研修や相談窓口、内部通報制度を設置するなど、環境整備と風土改善にも努める					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	役職者、従業員へ向けてのハラスメント講習の実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	残業時間削減への取り組み 日報による、生産性管理、業務効率の改善を図る								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	現在は雇用はないが、外国人労働者の雇用過去あり				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	事故報告書を作成し、事故防止策を計画、一定期間後に是正処置の確認をしている(PDCAサイクル)			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ストレスチェックの実施 相談窓口の設置 【予定】産業医を配置			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	育児支援制度を確立し(今年度は対象者なし)、女性のワーク・ライフ・バランスを支える。女性の管理職の増加					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	各個人の教育訓練シートを作成、フォローアップ 外部研修、内部研修の実施 個人の目標設定シートを作成、目標管理とフォローアップ				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	有期雇用労働者に対しても人事評価制度を設け、正社員と同様の賃金テーブルを適用。年齢や経験等から近い正社員モデルと同じ等級に格付けたことにより、基本給及び昇給額が増額した					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	残業時間削減への取り組み 日報による、生産性管理、業務効率の改善を図る			3					8									
環 境	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	ごみの分別に努め、再生可能資源の回収に務める。 (カン・ビン・ペットボトル、新聞・古紙、ダンボール、ストレッチフィルムなど)											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	倉庫屋上を利用した太陽光発電による再生可能クリーンエネルギーの利用による、エネルギー使用量を把握し、効率化に努め、脱炭素化、CO2排出量の削減に務める。							7.3						13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	エコドライブの実施、低公害車の導入、輸送効率の向上による温室効果ガス排出量の低減を務める。 事故ゼロへの取り組み→無駄な配送・廃棄を無くす							7.2 7.3					12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	エコドライブの実施、低公害車の導入、輸送効率の向上による温室効果ガス排出量の低減を務める。 事故ゼロへの取り組み→無駄な配送・廃棄を無くす			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	特定外来生物(ヒアリ対策)に取り組み、生態系の保護に務める						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	-						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001:2015の認証取得(2021.7) 環境方針を策定し、環境マネジメントに取り組む			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ISO14001の取り組みを社内で共有 HPIにてISO・SDGsの取り組みを公開 SDGsの取り組みを社内で共有												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	倉庫屋上を利用した太陽光発電による再生可能クリーンエネルギーの利用による、エネルギー使用量を把握し、効率化に努め、脱炭素化、CO2排出量の削減に務める。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	倉庫屋上を利用した太陽光発電による再生可能クリーンエネルギーの利用による、エネルギー使用量を把握し、効率化に努め、脱炭素化、CO2排出量の削減に務める。												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001:2015の取得(2021.7) 品質方針を策定し、品質マネジメントに取り組む			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001:2015の認証取得(2021.7) 品質方針を策定し、品質マネジメントに取り組む									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	-						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	-	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	産業廃棄物の処理はmanifestoを管理し 排出量の把握と管理に務める。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	2020年5月12日 こども病院へマスクを寄付				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	-								8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	組織体制	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している								8	9								17
29		【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																16	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																16	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																16	17
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																16	
33		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している									9		11		13.1			16	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。） ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。
--